

R体αリポ酸、CoQ10

生体エネルギーを効率的に生産

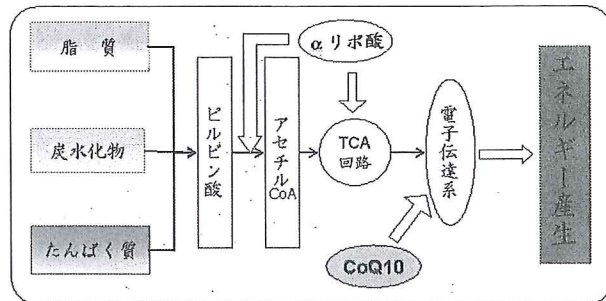
シクロケム

体の疲労を感じるのは体内のエネルギー不足が要因として大きい。シクロケム(東京都中央区、☎03・5614・7114

7)は、体内のエネルギー生産を効率的に行える素材としてシクロケム(αリポ酸、γCD)で包接したR体αリポ酸とCoQ10の併用を提案している。

人は3大栄養素の中でも特に糖質を体の中に取り入れてエネルギー源として使用する。生体内で糖質は、解糖系でピルビン酸に変換され、ピルビン酸

は3大栄養素の中でも特に糖質を体の中に取り入れてエネルギー源として使用する。生体内で糖質は、解糖系でピルビン酸に変換され、ピルビン酸



ン酸アヒドロゲナーゼ複合体(PDC)の働きに

よりのアセチルCoAに誘導された後、クエン酸回路や電子伝達系を通り生体エネルギーへと変換される。その際に酸化型のαリポ酸がPDCの働きを支えて糖代謝を促進する。αリポ酸はこの時、還元型へと変換される。

また電子伝達系では酸化型のCoQ10が補酵素として働き還元型に変わること

でエネルギー産生を促す。還元型に変換されたαリポ酸とCoQ10は抗酸化物質として働く。特に、αリポ酸は還元型になるとヒタミンCやヒタミンEなどの抗酸化

物質を再生し、酸化型に戻ったαリポ酸は再びPDCの補酵素として働く。このように食事で摂取した糖をエネルギーに代謝する上で、相乗的に働くことにより、抗疲労、持久力の向上につながるだけでなく、脂肪蓄積を抑えることもできる。

どちらも加齢と共に生体内での産生量は減り、代謝が落ちていくため、食事で摂取し補うことが大切だ。しかしαリポ酸は食後に摂取すると吸収されにくい。CoQ10は食前は吸収されにくい特徴があり、同時摂取する上で問題がある。γCDで包接することでこの問題を解決でき、生体利用能の向上も見込める。

物質を再生し、酸化型に戻ったαリポ酸は再びPDCの補酵素として働く。このように食事で摂取した糖をエネルギーに代謝する上で、相乗的に働くことにより、抗疲労、持久力の向上につながるだけでなく、脂肪蓄積を抑えることもできる。